

Public Relations

広
報



<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



今月の表紙 ふるさとまつり ~ 子どもみこしが町中を練り歩きました ~

まちの話題 縁日と屋台で笑顔いっぱい みんなで楽しんだ本岐秋まつり

多くの人で賑わった第16回つべつふるさとまつり！

平成19年度花壇コンクール 下美都自治会婦人部が最優秀賞獲得！

温故知新
全力疾走
共和 濱端 正幸さん

2007.10
NO.538

縁日と屋台で笑顔いっぱい
みんなで楽しんだ本岐秋まつり

9月12日、本岐神社と本岐農業研修センターで秋祭り（本岐連合自治会主催）が行われ、7自治会（本岐市街、本岐第2、双葉、沼沢、木樋、二又、大昭）の皆さんは縁日と屋台で楽しい秋の1日を過ごしました。

神社周辺では子どもみこしや子ども相撲が行われ、夜には研修センター内の縁日会場で射的やスマートボール、輪投げなど子どもたちはお祭り気分を体験しました。
また、屋外にはとてもおいしいと好評な焼き鳥やつくね、豚汁コーナーが用意され大盛況でした。
その後、カラオケやビンゴゲーム、豪華景品が当たる大抽選会が行われ、賞品を獲得する度に会場からは歓声が上がっていました。



1番人気のスマートボールは子どもたちでいっぱい



ボーガルーレットで賞品を獲得！

鹿の子沢の大自然を満喫！
ふれあい歩こう会に26人が参加！



9月2日、第2回ふれあい歩こう会に26人が参加して行われました。

参加者は、鹿の子沢（鹿の子ダムの下流）の駐車場から虹の滝や名木100選にも選ばれた三本柱の名勝を散策しながら糸ひき滝を目指しました。途中、急こう配な道もありましたが、参加者全員が鹿の子沢の大自然を満喫することができました。

この日は天候にも恵まれ、心地よい汗を流した後は、温泉ゆづゆで昼食や入浴で疲れをいやしました。参加者は「三本柱は素晴らしい景色でした。次回もぜひ参加したいです」と話してくれました。

townics

まちのわだい

津別町防犯協会と美幌歯科医師団
永年の活動を讃え教育委員会顕彰

8月30日、教育委員会会議の席上で津別町防犯協会と美幌歯科医師団における永年の活動を讃え、布瀬勝明教育委員長から顕彰を受けました。

津別町防犯協会は平成13年から小学校入学児童に登下校の安全を守るため防犯ベルの寄贈を7年間続けている功績が認められました。水上博会長は「児童生徒の安全は地域で活動していくのが大切です。今後も寄贈活動を続けます」と話してくれました。
美幌歯科医師団は昭和59年間に23年間、全小学生を対象に歯ブラシの寄贈を続けている功績が認められました。津別代表の白木雅之さんは「寄贈する歯ブラシが減少して寂しいですが、今後も活動を続けていきたいです」と話してくれました。



教育委員会顕彰を受賞した津別町防犯協会長水上博さんと美幌歯科医師団津別代表白木雅之さん

北海道経済の展望を学ぶ
職員研修公開講座開催

9月7日、林業研修会館で「北海道経済を展望して『北海道経済の光と影』」をテーマにした公開講座が行われ、商工関係者や役員職員など約50人が参加しました。

講師に津別町出身で北海道経済産業局総務企画部長の樋口恭司氏を迎え、北海道経済の発展は「国際競争力ある産業の育成」と「活力ある地域づくり支援」と「社会の安全・安心の確保」が重要であると話してくれました。会場を訪れた参加者は、北海道経済の現状と課題という身近な問題を真剣な表情で聞き入っていました。



樋口恭司氏の話熱心に聞き入っていました

8月29日、町長室で知事からフラワーマスターの認定を受けた山内彬さん（豊永）と高橋トミ子さん（幸町）に佐藤多一町長から認定証の伝達が行われました。
フラワーマスター制度は、園芸の地域ボランティアリーダーとして植花事業の指導、助言ができる方です。認定を受けた山内さんは「まだ経験が浅いので積んで若い人にも参加してもらえよう仲間づくりをしていきたいです」。高橋さんも「一生懸命勉強し、先輩たちと力を合わせ頑張りたいです」と抱負を話してくれました。



山内彬さんと高橋トミ子さんへフラワーマスター認定証を伝達

ギターとフルートの音色を楽しむ道の駅あいおいでコンサート



8月26日、旧北見相生駅のホームで「あいおい道の駅コンサート・エフエム2007」が1年振りに開催され、道の駅周辺には、ギターやフルートの音色が流れていました。
この日の演奏者、丸尾美佐さん（役場保健師）がフルートでアンコール曲を含む6曲を演奏。佐藤芳弘さん（電器店経営）はアコースティックギターで全7曲を披露。最後に石橋吉伸さん（役場職員）がアコースティックギターを弾きながら「西国33力所」を歌いました。
この日は天候にも恵まれ、会場に訪れた30人の方は芝生に座り1時間のコンサートを楽しんでいました。

みなさんいつまでもお元気で
お寿司をみんなにプレゼント



9月14日、グループホームふれやかほのぼので入居者の皆さんはボランティア活動に訪れた丹和代さん（丹食品店）が握るお寿司を味わいながら少し早い敬老の日を過ごしました。
この日は帆立やうに、いくらなど10種類の寿司ねたが用意され、丹さんが手際よく握っていくお寿司を「おいしい、おいしい」と笑顔いっぱい食べていました。
丹さんは「入居者のみなさんに喜んでもらえてとてもうれしいです。たくさん握るのでどんどん食べてください」と話してくれました。

9月15日、チミケップ湖で自然文化教室が開催され、4年生から6年生の子どもたち12人が、カヌー体験を楽しみました。
この日は小雨が降るあいにくの天気でしたが、ライフジャケットをまとった子どもたちは、5人の指導者からカヌーの乗り方やパドルの漕ぎ方などを教わり、少し緊張した表情でカヌーに挑戦しました。

最初は、慣れない手つきで一生懸命漕いでいた子どもたちもカヌーのコツがわかったのかスイスイと漕いでいく姿はとても楽しそうでした。



自然文化教室に12人が参加
チミケップ湖でカヌーに挑戦

西村栄さんが最優秀賞を獲得
津別仏教振興会「写真コンテスト」

9月8日、順誓寺で家族の絆をテーマにした写真コンテスト（津別仏教振興会主催）の表彰式が行われ、128点の応募作品の中から仏教振興会会長賞に西村栄さん（共和在住）の作品「ねむれよいこよ」が選ばれました。
今回の作品は長女が住む札幌へ遊びに行ったときに初孫の美季ちゃん（当時小学2年）が、うたた寝をしている西村さんに耳そっじをしてあげているとてもほのぼのとした作品です。各審査員からも高い評価を受けていました。
受賞した西村さんは「入選するなんて信じられません。この写真は居間に飾り毎日見ているお気に入りなので本当につれいれたいです」と笑顔で話してくれました。



表彰状を受け取り笑顔の西村栄さん・百合子さん



最優秀賞に選ばれた西村さんの「ねむれよいこよ」

「みんなですすめる交通安全」
全国キャラバン北海道隊来町



田西隊長からメッセージを受け取る佐藤町長

「全国キャラバン北海道隊」（隊長 田西喜代北海道交通安全母の会会長）の一行8人が網走管内を巡回し、8月28日津別町を訪れ、交通安全の一層の推進を呼びかけました。
林業研修会館での伝達式には交通安全協会や青葉幼稚園児などが出席。田西隊長が、交通安全は家庭からという運動を地道にやっていきたい」と話した後、内閣府特命担当大臣からのメッセージを佐藤多一町長に手渡しました。
佐藤町長は「職場や地域とともに交通安全に努めます」とあいさつし、交通安全に関する決意をしたためた色紙を田西隊長に手渡しました。また田西会長から青葉幼稚園児に交通安全の紙芝居が贈られました。

8月30日から9日間、留学生夏期ホームステイ受入事業が実施され、津別町国際交流協会（松平範慶会長）は韓国、台湾、中国、タイから7人の留学生を受け入れました。

留学生たちは小中学校の訪問や受入家庭と一緒に観光地巡りなど楽しみ、忘れられない思い出を作りました。
最後の夜となった9月6日は、でてこいランドでホームステイお別れ会が行われ、留学生が韓国風のお好み焼きチジミ、水餃子、エヒチリ、生春巻き、台湾式チャーハンなど故郷の料理を作り、受入家庭と一緒に食卓を囲み、カラオケや津別での思い出を語り合いました。



でてこいランドでお別れ会
留学生が津別町でホームステイ

津別ソフトテニス少年団が大活躍
ゴーセン杯全道小学生大会で優勝



8月26日、当麻町で開催されたゴーセン杯全道小学生大会で津別ソフトテニス少年団の上杉昌輝・細川源生組が5年生男子の部で初優勝に輝きました。
女子では植松日南子・寺尾麻梨奈組が5年生女子の部で3位、加藤千花・佐藤梨緒奈組が4年生女子の部で3位に入賞する活躍を見せました。
男子組は予選リーグを3戦全勝で勝ち上がり、決勝トーナメントも札幌と静内の混合チームを3対1で破りました。上杉君と細川君は「優勝はうれしかったけど河野斗夢・佐藤雪路君組に勝って優勝したかったです」「大きな大会で優勝できてうれしかったです」とそれぞれ感想を話してくれました。



ジュースを飲んで休憩中！

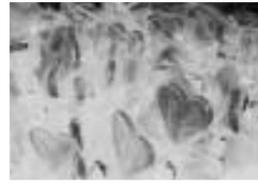


威勢の良いかけ声と共に五差路周辺を練り歩く担ぎ手衆！



力を振り絞って頑張りました

ふるさとまつり



射的、金魚すくい、とんちん館は子どもたちでいっぱい！



多くの家族連れがふるさとおまつりを楽しみました



懐かしい縁日や、食べ物の出店が軒を並べました！



フアファには長い列ができました



無農薬野菜を販売したつべつべGROW



9月9日、10日の両日、津別神社近くの町道を会場に16回目のふるさとまつりが開催され、多くの町民が秋の祭りを楽しみました。
会場内は、町内の商店や職場などによる手作りの出店や、実行委員会によるお面やダーツなどの縁日コーナーが、42店軒を並べ、フアファや巨大迷路などで元気に遊ぶ子どもたちの声が夜遅くまで響いていました。
10日は、あいにくの雨模様でしたが、津別神社秋季例大祭のみこしと子どもみこしや駒踊りが町を練り歩き、五差路には黒山の人だかりができていました。



つべつべGROWのふるさとまつりは大成功でした

曾根 教勝

さん



そね のりまさ さん / 昭和59年12月生まれ
農業に従事 / 高台

青春

今年ふるさとまつりで無農薬野菜と津別産の食材で作ったナン Dockを販売した農業青年グループつべつべGROWのリーダー 曾根教勝さんに話を伺いました。つべつべGROWは曾根さんが学生時代から津別の農産物で町をPRしていきたくてという思いがあり卒業後、自分の考えを呼びかけ賛同してくれた6人の先輩と同級生で結成。今注目のグループです。ふるさとまつりでは「町の人がたくさん来てくれ、交流も深まりうれしかったです。ナン Dock

は完売、袋詰め放題の玉ねぎとジャガイモも大好評でした(笑) 趣味は音楽鑑賞と中学・高校と続けてきたサッカー(現在フットサルで活躍中)。特に音楽は生活の必需品でレゲエの「TOK」や「湘南乃風」が気に入っています。曾根さんの夢は「去年断念したジャマイカでのレゲエ祭に行くことです。でも一番は津別の農産物のブランド化を目指しながら、仲間と楽しくいろんなことにチャレンジしていくことです」と笑顔で話してくれました。

つべつべGROWメンバー・曾根教勝(リーダー)・榎本聖・鈴木健二・河本純吾・山田耕太・鹿中徳三郎・重倉広光

温故知新

【354】

全力疾走

濱端 正幸 さん



はまはた まさゆき さん / 昭和4年緋牛内で生まれる / 趣味の陸上競技観戦・庭の花づくりを楽しむ / 78歳 / 共和在住

「陸上競技を見るのが楽しみ」と語る濱端正幸さんに話を伺った。濱端さんは、昭和4年2月、端野町緋牛内(現在北見市緋牛内)に生まれ生後数カ月で共和に移り住み、5女5男の長男として父親の跡を継ぎ農業を営んできた。当時は、現在の農産物3品(小麦・ヒト・馬鈴薯)の作付けとは違い大豆・小豆・菜豆が主要作物で冷害の年が多く終戦直後から姉の子供や弟・妹など11人の大家族のため豆の脱穀の合間に、山の集材作業の馬引きを行うなど1年間、休まず働いた。「冬の集材は、

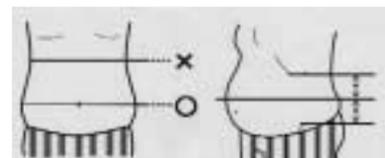
重労働で馬のてい鉄は1カ月程度で擦り切れ妻に変わって馬を持ってきてもらつたなど妻に大変苦労させた」と照れながらやさしい笑顔を奥さんにかけていた。23歳のとき、趣味となっている陸上競技に目覚め、陸上競技の中心距離(400m)に没頭。網走管内の陸上競技会で津別・美幌の合同チームの4x400m(1600m)で管内記録を出したのが楽しい思い出となっている。陸上競技引退後は、オリンピック、国体などの審判を務められる日本陸上競技連盟公認1種審判員として全道を飛びまわってきたが、近年津別町の陸上競技人口の減、指導者不足など陸上競技の衰退を懸念、陸上競技の復活を願っていた。農協組合員でもある濱端さんは、34歳から津別農業協同組合の理事として28年間(監事2期6年を含む)コンバインの導入、麦乾燥・貯留施設、農協牧場造成など数々の農協施設近代化の整備に尽力し、平成5年、北海道農業協同組合連合会表彰、平成15年に長年の防犯活動に対し全国防犯協会連合会表彰などを受けている。現在は、趣味の陸上競技鑑賞と趣味とはいわれないパチンコ、庭の花づくりなど多種多様で、腰・ひざの悪い美代子さんを気遣いながら今も元気を瀟々さんでした。

健康いきいき

あなたの腹囲は何センチ？

正しい腹囲の測定方法

【私は、メタボ?】
最近「メタボリック」という言葉を多く聞かれる方もいるのではないのでしょうか?メタボリックシンドローム(以下メタボ)とは運動不足や食べ過ぎによって起こる内臓脂肪の蓄積と動脈硬化に陥りやすい高血圧、脂質異常症(高中性脂肪、低HDL、高HDL)、高血糖が2項目以上重なっている場合をいいます。
内臓脂肪蓄積のみ、重なりが1項目の場合は、「メタボ予備群」と呼ばれています。
【内臓肥満の指標となる腹囲】
高血圧、脂質異常症、高血糖は健康診断の結果、または病院受診の結果わかるものです。それに比べて、内臓脂肪の蓄積を厳密に知るには、腹部のCTを撮らなければなりません。手間がかかり、気が引けてしまつてはいないでしょうか?そこで考え出されたのが、お腹周りの周囲径「腹囲」の測定です。
腹囲はメジャーひとつで容易に測定することができ、内臓脂肪の蓄積の状態がわかります。
【正しい腹囲の測定方法】
「腹囲」といって、身体のウエスト(最も細い部分)を測ると思われるかもしれませんが、メタボを判定する腹囲の測定方法は、次の通り「メタボリックシンドローム検討委員会」で決められています。お腹に力を入れないように立ちます。メジャーが水平になつてい



体幹の最も細い部分ではなく、へその位置で測定
肋骨下縁と腸骨上縁の midpoint を通る横断面で測定

息を吐き終わった時点で目盛りを読みます。
下図のようにおへその位置で測定します。おへその位置が下垂している場合には肋骨と腸骨の midpoint で測定します。
男性が85cm以上、女性が90cm以上で、内臓脂肪の蓄積といえます。さあ、これを機会にメジャーを出して、腹囲を測ってみましょう。基準値を越えて「メタボ」に近づかないよう、食生活、運動生活を改善していきましょう。

暮らしを支える 税

町税の納付忘れはありませんか?

10月1日までに、町道民税の1期、2期、固定資産税1期から3期、国民健康保険税の1期から4期、軽自動車税全期分の納期限が到来しています。役場から届いている納付書を確認していただき、納期限が過ぎて納付を忘れていたものがありましたら至急納付をしてください。
納期限を過ぎると延滞金の計算の対象となり、納付する税額や納付した日にもよりますが、本税と併せて延滞金も納めていただくこととなります。納期限後、納付されてない税がある場合、役場から督促状を送付しますが、それでもなお納付せず、そのまま放置しておく、給与、預貯金、財産などの差押をすることになります。そのようなことにならないためにも納期内の納付をお願いします。
また、納期限までに納付できない方は、そのまま放置せず役場収納係で納税相談されるようお願いいたします。
口座振替制度を利用されている方は通常月末(郵便局は25日)引落になっていますので振替日前までに口座の残高の確認をお願いします。残高不足で口座振替ができない場合は納付書(役場収納係で再発行します)で納付していただくこととなります。



下美都自治会婦人部が最優秀賞獲得

今年も、自治会や老人クラブなど各団体の方が、心を込めて造った30の花壇が皆さんを楽しませてくれています。

8月29日に開かれた花壇コンクール審査会では下美都自治会婦人部（西村百合子部長）が最優秀賞に選ばれました。審査員からデザインや配色、花の育成状況などで高い評価を受けました。

西村さんは「最優秀賞をいただきとてもうれしいです。カラスに花が抜かれるなど苦労しました。花が終わるまでしっかりと管理します」と笑顔で話してくれました。

コンクールに参加した町内30カ所の花壇の写真は役場の正面玄関と中央公民館に掲示していますのでお越しの際にぜひご覧ください。



9月5日に表彰式が行われました

おめでとうございます

最優秀賞

- ・下美都自治会婦人部

優秀賞

- ・高台第2自治会婦人部
- ・豊永第4自治会婦人部

優良賞

- ・旭町第1自治会
- ・豊永第1農事組合婦人部

奨励賞

- ・活汲第3自治会婦人部
- ・布川自治会婦人部

努力賞

- ・活汲老人クラブ
- ・旭町第2自治会
- ・津別町商工会

特別賞

- ・本町自治会

平成19年度花壇コンクール 丹精込めた30花壇が参加！



最優秀賞 下美都自治会婦人部



優秀賞 高台第2自治会婦人部



優秀賞 豊永第4自治会婦人部



優良賞 豊永第1農事組合婦人部



優良賞 旭町第1自治会